

令和6年度 大江地区福祉活動計画

重点課題

地域での見守り活動の積極化

事業名

見守り活動の促進事業

地域の課題（背景）

- ・子どもたちの登下校の見守り活動の継続の重要性を確認し、各バス停において乗降時の見守りについて検討を進めていく。そのためのボランティアの募集を推進。
- ・高齢化及び核家族化の進行によることなどから、高齢者を取り巻く家族構成の変化、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加などの対策は急務である。
- ・令和5年度において、生活支援要項を策定し、「大江ん隊」組織がスタートした。活動の実績は未だないが、必ずや利用者が出てくるものと考えられる。そのための準備を進めていく。
- ・市社協による実態調査によると、今のところ支援を必要と感じている人はいないという結果が出ている。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- 子どもたちへの見守り
 - ・登下校の見守りを行うため、学校・PTAと協力し、バス停毎の当番表を作成する。
 - ・増員を図るため、地区社協便りにて見守りボランティアを募集する。
 - ・通学路周辺での見守り活動を呼びかける。
 - ・通学路の登下校時間帯での規制について働きかける。
 - ・小学校統合後の体制について検討する。
- 生活支援推進会議
 - ・自治会長、福祉推進員、民生委員児童委員、運営委員による福祉懇談会の開催。
 - ・定期的に福祉懇談会を開催し、活動の具現化を協議する。
- くらしを支え合う活動・大江
 - ・生活支援「大江ん隊」の啓発と普及を図るためのサポーターを募る。
 - ・生活支援「大江ん隊」の充実を図るため、サポーターの集い、研修会を開催する。

自助(自分でできること)

- ・積極的に見守り活動に参加する。
- ・地域の助け合い・支え合い活動への参加。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・小中高生の安心安全登下校のため、運転者に対し安全通行の指導と交通標識の充実強化を願う。

令和6年度 大江地区福祉活動計画

重点課題

地域住民間における交流する機会の拡充

事業名

三世代交流の促進事業

地域の課題（背景）

- ・大江地区には多くの福祉施設があるので、施設利用者にも参加いただけるような企画を考えたい。
- ・地域ふれあい交流の更なる促進のため「三世代グラウンドゴルフ大会」や「まめでいりゃーす会・ひとり暮らし高齢者のつどい」の開催を引き続いて実施していきたい。
- ・地区内の子どもたちの減少が大きな課題である。
- ・令和6年度から海津町内5小学校の統合し海津小学校が開校する。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- 大江地区 小運動会（秋）・餅つき三世代交流会（冬）
 - ・より多くの地域の方にも足を運んでいただけるよう、周知活動する。
 - ・役割分担表をもとに、学校やPTAと連携する。
 - ・海津小学校との関わりを保ちながら、今年度以降継続して出来ることを追求する。
- 大江地区三世代交流グラウンドゴルフ等スポーツ大会（秋）
 - ・自治会の協力（参加者の募集）を得て、三世代が集まる地域交流の場として開催する。
 - ・子どもたちの参加を図るための方策を講じていきたい。
 - ・「大江地区社協便り」などで、開催と参加者募集の案内を掲載する。
 - ・雨天となった場合の交流会を、屋内に変えて実施できる内容（競技種目など）を考えていきたい。
- 大江地区の広域なサロンを計画
 - ・いきいきふれあいサロンの普及啓発を目的に、年に1回70歳以上の高齢者を対象として、「まめでいりゃーす会」及び「ひとり暮らし高齢者のつどい（市社協助成事業）」を（夏・秋）開催する。
 - ・参加者全員がお互いに積極的に触れ合える環境づくりを行う。

自助(自分でできること)

イベントが行われる際には、近所の人に参加の呼びかけをする。

公助（行政や社協に依頼すること）

高齢者のつどい事業拡充のため助成金の増額を願いたい。

令和6年度 大江地区福祉活動計画

重 点 課 題	防災・減災に対する意識の高揚
---------	----------------

事業名

防災意識の向上事業

地域の課題（背景）

- ・地域住民の皆さんの防災・減災に対する関心の高さは大きいと感じている。
- 継続して講演会・講習会などを開催することは重要である。
- ・何をすれば良いか、何に備えれば良いか等、具体的な防災行動に迷う住民は多い。
- ・大江地区では自主防災組織の編成が少ない。災害対策として重要性を啓発していきたい。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

○講演会等の開催

- ・災害は身近にあるものだとし、防災意識と知識を高めるために開催する。
- ・講演会の開催は、地域住民の集まる機会を捉えて開催する。
- ・消防団と協力し開催する。
- ・避難所運営ゲームを開催する。

○災害対策

- ・地区内における自主防災組織の設置について啓発する。
- ・避難所（旧大江小学校 総合教育センター）の防災備蓄品を確認し、補充すべきものを確保及び要望する。

自助(自分でできること)

- ・避難場所などや避難経路の確認
- ・地域住民に対する防災意識の高揚を更に図るために、各地域住民にまで広げた防災訓練または、講習会を実施する。
- ・備蓄品を確認し、備品等の充実を図るとともに、この備品を使つての実務訓練を行っていく。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・地域住民に対する防災意識の高揚を図るため積極的な働きかけをお願いする。
- ・避難所運営ゲーム（HUGゲーム）を防災講演会等で実施をお願いする。
- ・備蓄品の充実を図るよう依頼する。

令和6年度 大江地区福祉活動計画

重 点 課 題	地域住民に対する地区社協の認識度の向上
---------	---------------------

事業名

地区社協の啓発活動事業

地域の課題（背景）

- ・地区社協便りを地域住民に早期配布することをお願いしていきたい。
- ・啓発イベントの参加者増員を図ること。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

○地区社協の広報活動

- ・自治会長を通して、「大江地区社協便り」の早期配布を依頼する。
- ・地区社協の活動が住民に伝わるよう、文字を大きくし、読みやすく分かりやすい内容となるような紙面とし、カラー版を継続していく。
- ・大江区内の公共施設、商店、作業所、福祉施設等へも広報誌を配布し、大江社協の活動を広く知ってもらう。

○イベントや部会活動の広報活動

- ・「大江地区社協便り」に掲載するため、部会員が協力し、撮影や関係者に取材する。
- ・イベント開催の案内や参加者の募集を掲載する。
- ・各部会の活動予定及び実施行事を掲載する。
- ・各自治会活動・行事を掲載する。
- ・健康づくりに関する情報を継続して掲載する。

自助(自分でできること)

積極的に参加する。

公助（行政や社協に依頼すること）

活動助成金の増額をお願いしたい。